

## 日進市6次産業化推進戦略（案）パブリックコメント実施結果について

意見募集期間：平成31年1月21日（月）から平成31年2月21日（木）まで

意見提出者数：2人

意見提出数：2件

No. 1	項目：全般
意見の内容	<p>かつて日進市が村だった頃、JAライスセンターの所にデンブ工場が有り、村民はサツマイモを作りそこに出荷しお金を得ていたが、今はそのような事がない。何か1つでもよいから作物を作ったらすべて買い取りするものがあれば、農業収入も確保され農業従事者も増えると思う。</p> <p>現状、小規模農家が多い本市では、ますます農業従事者は減る一方だと思う。産直で農協に出荷している人も地元の人もいるが、他県などから来た人が土地を借りたりしてやっている事もある。</p> <p>だから核となる業者（例えば農協）が中心になり、そこに農家が同じ作物を作り、一定量納めるようにすれば、現状は解決に向かうのではないかと考える。既存の業者をきちんと形作っていけばよいのではないか。例）飼料作物、プチヴェール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小規模農家が取り組める作物にすること</li> <li>2. 農協や既存の業者の活用</li> <li>3. 機械などの投資が大きくなってよいこと</li> <li>4. 作物を作るにあたって栽培が難しくないこと</li> </ol>
市の考え方	<p>現在、市内で生産される米の多くは農協が買い取っていますが、米価の低迷により再生産も難しい買取価格であるため、農家収入の向上にはつながっていない状況です。</p> <p>需給バランスのなかで価格が決まるため、一律に農産物を生産しても農家収入の向上につながる価格で買取り・販売ができなければ米と同じことになるので、農産物の高付加価値化を図る一つ的手段として6次産業化を推進していきたいと考えています。ご意見として参考にさせていただきます。</p>

No. 2	項目：全般
意見の内容	<p>地域資源である農畜産物のブランド化によって付加価値を与えることも重要ではあるが、農業就業者の減少に伴う農業生産力の低下といった本質的な課題の解決のためには、新規に農業に取り組みやすい（県外・海外からの農業系スタートアップ企業の受け入れも想定した）環境を整えて農業就業者数を維持し、ICT等の先進技術を活用して農業生産力の向上を図ることが喫緊の課題であると考えられます。</p> <p>他の自治体において地域振興のためにロジスティック拠点等を整備している例も見られるが、日進市の活性化のためには、愛知県内有数の田園学園都市である日進市の「人が輝く」将来像を描き、貴市が策定された田園フロンティアパーク構想を基底とするとともに、今後ますます導入が進むと予測されている「スマートアグリ」の概念を採り入れた6次産業化推進戦略であることを期待します。</p>
市の考え方	<p>本市においても、農業従事者の確保は重要な課題と認識しており、アグリスクール（農学校）事業の推進や、企業参入の促進などを通じ、新規就農者の確保・育成に取り組んでいるところです。</p> <p>「スマートアグリ」については、省力化、効率化により農業従事者不足等の課題を解消するものとして市としても動向を注視しており、その活用については今後の課題とさせていただきます。本市農政全般に関わるご意見として参考にさせていただきます。</p>